

旧交を温めた海外在住の伊江村出身者ら＝13日、那覇市の
沖縄ポートホテル



イージマガチ弾む



【伊江】世界のイージマンチュウ交流会（伊江村主催）が13日、那覇市の沖縄ポートホテルで開かれた。海外

から帰郷した村出身者や村民、日本国内の郷友会会員など約50人が参加しイージマガチ（伊江島方言）で語り合った。

25年前に沖縄に移り住んだボリビア生まれの

伊江村出身者ら交流会

2世、知花愛子さん(56)は、ボリビアで隣に住んでいた女性と45年ぶりに再会。手を取り合い「昔の面影がある」と喜んだ。

フランスで空手を指導している知念賢祐さんは「どこの国であろうと礎を築くのは時間がかかる。（旧交を温め）帰ってまた頑張ろうという気持ちももらった」と話した。